

## ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーが世界をつなぐ

2019～20年度年度

国際ロータリー会長 Mark・D・Maloney



## 東京麹町ロータリークラブ

### 本日の例会プログラム

第18回例会 2020.1.27(#2259) 会場:舞の間  
例会ホスト・紹介係 新保君 会費係 秋山君  
受付係 飯嶋君 木寅君  
司会者 時園君 ソングリーダー 崎山君

卓話 「伝統は永遠の流行～」

日本に洋菓子とおもてなしの楽しさを伝えて45年」

洋菓子研究家 今田 美奈子氏  
紹介者 福田会員

### 前回の報告

第17回例会 2020.1.20(#2258) 会場:悠の間  
例会ホスト・紹介係 地引君 会費係 内田君  
受付係 保科君 福田君  
司会者 時園君 ソングリーダー 乳井君

卓話 「新春 寿ぎの寄席と獅子舞」

三遊亭 楽生師匠  
紹介者 荒川会員

### 会長報告

- 1)皆様あけましておめでとう御座います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。
- 2)昨年末のクリスマス会には、多くの方皆様にご参加頂き、親睦委員長のお陰で楽しいマジックショーと美しい弦楽器の演奏を楽しむことができました。あらためてお礼申し上げます。  
下半期にはポリオ根絶チャリティー公演を控えております。更なるご協力を宜しくお願い致します
- 3)本日が新年の初めての例会ですので、嗜好を変えて落語と獅子舞で楽しみたいとおねがい致しました。
- 4)米山奨学生の劉さんが参加です。

### 幹事報告

- 1)明けましておめでとうございます。下半期もどうぞよろしくおねがいたします。
- 2)今期のポリオ根絶チャリティー公演は3月7日(土)、国立演芸場での寄席となります。おひとり出来れば6枚は御購入頂き、ポリオプラスに御協力下さい。
- 3)例会終了後に、定例会理事会がございます。該当のかたはお残りください。

### 例会記録

会員総数 43名 出席会員数 29名  
ゲスト 4名 その他 5名  
ビジター 2名 事務局 2名  
海外ビジター 0名 出席率 72.23%

12月9日 Make-up 後の

出席率 89.45%

#### 【今週のMU状況】

若林・吉田会員(1/22 丸の内RC)  
佐藤・濱田会員(1/23 神田RC)  
藺・若林・吉田会員(1/23 紀尾井町RC)

### ニコニコボックス

木元会員:本年も宜しくお願い致します。  
佐藤・荒川・時園・若林会員:  
明けましておめでとうございます。  
本年も宜しくお願いいたします。  
新保会員:おめでとうございます。  
本日は、田中様をお連れしました。  
浅野会員:12/24日に初孫が誕生。  
毎日癒されています。  
夫人誕生日:細谷会員(1/3)杉本会員(1/17)  
誕生日祝い:藤谷会員(12/9)垣見会員(1/2)  
菌会員(1/10)筒井会員(1/11)  
加賀会員(1/16)乳井会員(1/18)  
福田会員(1/31)

### 次回予告

第19回例会 2020.2.3(#2260)  
会場:舞の間  
例会ホスト・紹介係 保科君  
受付係 加賀君 藤田君  
会費係 木寅君  
司会者 中村君  
ソングリーダー 井関君



## 公平な税務行政の推進

麴町税務署署長 一ノ瀬和人氏 (11/18 卓話 後藤会員紹介)

国の今年度一般会計の歳入総額は、当初見込みで約 101 兆 4500 億円で、そのうち 60%強が租税収入です。中でも所得税、法人税は景気動向に左右されやすいのですが、消費税は比較的安定している税目です。所得税は、最高税率が昭和 60 年当時で 70%でしたが、平成 27 年度以降は 45%程度で推移しています。法人税は、グローバル化に対応して国際競争力を強化する点から税率が引き下げられ、最も高かった昭和 59~60 年で 49.3%だった税率は、現在 23.3%にまで下がっています。平成 2 年度は税収 60 兆円のうち所得税 26 兆円、法人税 18 兆円、消費税 4 兆円という割合でしたが、現在は法人税率が下がり、消費税率引き上げがあったので、今後は間違いなく消費税主体の構成になるでしょう。

国税庁の仕事は、その 61 兆円余りの租税収入をしっかり管理することであり、納税環境の整備と適正・公平な税務行政の推進を任務の柱に掲げています。日本は、納税者自らが納付する申告納税制度を採用していますが、この制度が適正に機能していくためには、納税者が高い納税意識を持ち、法律に定められた納税義務を自発的かつ適正に履行することが必要です。われわれは、その納税義務の履行を適正かつ円滑に実現することを使命に掲げています。

国税庁は、内国税の賦課・徴収を担当する行政機関として昭和 24 年に設立されました。その開庁式の時、日本の税制整備に尽力したハロルド・モス氏から「正直者には尊敬的、悪徳者には畏怖的」というスローガンが贈られました。適正に申告している納税者からは任務を全うしていると認められるように、悪質な納税者からは恐れられるようにという在るべき姿が示されており、この基本的な考え方は現在まで連続と続いています。

税務署制度ができたのは明治 29 年で、当時は日本全国に 504 の税務署ができ、6703 人の職員が働いていました。それから消費税が導入されて機構が変わったこともあって、平成 9 年度には職員数 5 万 7202 人とピークを迎えました。今は少し減って約 5 万 5670 人となっています。

昨年は 313 万社の法人のうち 292 万社から申告があり、申告所得は 73 兆 3800 億円、納税額は 12 兆 8000 億円余りといずれも過去最高の数字でした。各企業の業績が非常に良かったことがうかがえます。このうち、平成 30 年度に実地調査の対象となった企業は 9 万 9000 社しかありません。割合を年数に置き換えると 30 年に 1 度回ってくるかどうかという状況です。ただ、その他の多くの法人は、申告内容を審査して問題がないと判断されたり、

調査しなくても質問など簡易な接触で良かったりする法人なので、数に含まれていません。調査をきちんとしないと不公平感が生まれるので、不公平感を排除すべく、われわれは丁寧に調査し、税の負担を逃れようとする悪質な納税者をきちんとした申告に持っていきたいと思っています。

その中で、無申告事案への対応もテーマになっています。平成 23 年に税制改正が行われ、単純無申告ほ脱犯(故意の無申告不提出によるほ脱犯)も摘発対象になりましたので、該当する人をきちんと調査・摘発しています。特に力を入れているのは消費税です。偽りの申告書を出すだけで国から税金が還付されるので、そこに最も目を光らせて、水際で不正な受還付を防いでいます。不正な還付金が振り込まれるだけで犯罪なのですが、実際に受け取ってなくても申告自体が不正行為なので摘発対象となり、既にかかなりの数が裁判になっています。昨年度は査察事件で 122 件の 1 審判決が出ており、全てが有罪になっています。それだけ有罪判決が出ているということは、脱税が社会公共の敵であることをよく示していると思います。

脱税は特定の被害者がいないため、脱税者の犯罪意識は薄いと思います。そこで、平成 29 年 6 月以降、査察部で告発した事件は原則全てプレス発表し、報道各社も若干大きく取り扱うようになりました。脱税は本当に割に合わない行為だということを広く周知することで、公平な税務行政を進めています。正直者がばかを見ることのない社会にすることを使命として、正義感を持って取り組んでいますので、今後のご理解、ご支援をお願いします。

クラブだより No.18

『多数ご参加下さい』

ポリオチャリティー公演(寄席)にご協力下さい。

3月7日(土) 12:35~ @国立演芸場

1枚3,500円

東京麴町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204 号
		TEL:03-3263-9220
会長	佐藤 茂	FAX:03-3263-9122
幹事	荒川 和幸	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	植芝 守央	URL: www.koujimachi-rc.jp